

参考資料

1. 前年度研究「プロサッカーチームが北九州市に与える経済効果に関する研究」¹⁾ 概要

北九州市立大学 都市政策研究所 准教授 南 博

- 北九州市立大学都市政策研究所の2008年度地域課題研究では、「プロサッカーチームが北九州市に与える経済効果に関する研究」に取り組んだ。
- この研究は、ニューウェーブ北九州がJリーグに加盟した場合を想定し、北九州市にもたらすことが想定される経済効果を試算することを目的として実施し、日本のサッカーリーグの構図及び他のプロサッカーチームの経済効果の推計状況の事例整理等を行った上で推計手法を検討し、実際の試算を行った。試算においては、経済効果（経済波及効果）の試算に一般的に用いられる「産業連関表」²⁾の活用による推計手法を用いた。
- その結果、「ニューウェーブ北九州の1年間のチーム活動による北九州市内における経済効果」として、「J2新規参入直後の段階」では約9億円、「J2に定着した段階」では約13億円、「J1に昇格した段階」では約20億円という経済効果額の試算結果が得られた（表1）。なお、この経済効果額は試合の開催による効果を主に対象としており、スタジアム整備費等については含んでいない。
- この試算は、大まかな仮定のもとに算出したものであり、あくまでも一つの目安として取り扱う必要がある。さらに、ここでは含まれていない経済効果も発生することが考えられる。ただし、本研究により、ニューウェーブ北九州が一定程度の大きな経済効果を北九州市内にもたらすことは明らかになったと考える。
- こうした経済効果がもたらされるかどうかは、経済活動の主体である市民がいかに多くスタジアムに応援に訪れ、また日常的にサッカーに関連する消費活動を行うか、という点が大きな鍵を握っていると言えよう。そのためには、ニューウェーブ北九州が良い成績を上げ市民の関心を引き寄せることが何より重要であるが、市民側もニューウェーブ北九州が地域に多様な効果をもたらす存在であることを改めて認識し、一人ひとりが無理のない範囲で息長くチームを育てていくという視点を持つことが必要であろう。さらには市内の事業者がニューウェーブ北九州の存在がビジネスチャンスにつながるものと認識し、創意工夫を凝らしたビジネスや広告戦略を展開して消費を呼び込むことも必要であろう。
- なお、ニューウェーブ北九州は北九州市に幅広い有形・無形の効果を与えている。経済効果はその一要素に過ぎない点に留意が必要である。

注

- 1) 詳細は、南博「プロサッカーチームが北九州市に与える経済効果に関する研究」、北九州市立大学都市政策研究所『地域課題研究』、pp.187-210、2009年3月を参照。
- 2) 本試算で使用した産業連関表は、北九州市が2005年に作成した「平成12年北九州市産業連関表（32部門）」である。

表1 ニューウェーブ北九州の北九州市内における経済効果試算結果（百万円）

段階 項目	J2新規参入直後の段階			J2に定着した段階			J1に昇格した段階		
	直接効果	間接効果 (1次+2次)	経済効果 額 合計	直接効果	間接効果 (1次+2次)	経済効果 額 合計	直接効果	間接効果 (1次+2次)	経済効果 額 合計
試合運営	77	42	119	77	42	119	157	92	249
観客消費	443	243	686	709	394	1,103	1,053	587	1,640
その他(※)	60	36	96	60	36	96	89	50	139
合計	580	321	901	846	472	1,318	1,299	729	2,028

※「その他」の内訳は、「対戦相手チームの遠征に伴う消費」、「県外への観戦ツアーに関する消費」、「所属選手・スタッフの消費（生活費のみ対象）」、「スタジアムに来訪しない市民等によるチームグッズ購入」の4項目。

参考資料

2. シンポジウム会場でのアンケート結果

1) 実施概要

シンポジウム会場にて全参加者（151名。ただし都市政策研究所教員、担当職員は除いた人数。）に対し配布。シンポジウム終了後、会場出口にて回収。

2) 回収数

有効回収数 91 （回収率 60.3%）

3) 回答結果

問1 性別、年齢、職業等についてお答えください。

項目	回答数	構成比
性別	男性	64 70.3%
	女性	27 29.7%
	合計	91 100.0%
年齢	20歳未満	13 14.3%
	20歳代	17 18.7%
	30歳代	9 9.9%
	40歳代	29 31.9%
	50歳代	18 19.8%
	60歳以上	5 5.5%
合計	91 100.0%	
職業等	会社員・公務員・団体職員 (アルバイト、派遣等含む)	49 53.8%
	経営者・自営業・自由業	6 6.6%
	教員	3 3.3%
	学生・生徒児童	26 28.6%
	年金生活・専業主婦(主夫)	3 3.3%
	その他	3 3.3%
	無回答	1 1.1%
	合計	91 100.0%

問2 本シンポジウムにご参加いただいたきっかけをお答えください。(最も該当するもの1つに○)

項目	回答数	構成比
本城陸上競技場でチラシを受け取った	13 14.3%	
市の公共施設、学校等でチラシ、ポスターを見た	14 15.4%	
北九州市立大学の教職員からお知らせが届いたり、話を聞いたりした	43 47.3%	
テレビ、ラジオ、新聞、市政だよりで告知を見聞きした	3 3.3%	
インターネットで告知を見た	5 5.5%	
その他 ※うち7件は、「関係者から聞いた」旨、回答	11 12.1%	
無回答	2 2.2%	
合計	91 100.0%	

問3 本日のシンポジウムに対する満足度をお答えください。(最も該当するもの1つに○)

項目	回答数	構成比
大変満足した	19 20.9%	
ある程度満足した	49 53.8%	
どちらとも言えない	11 12.1%	
やや不満であった	1 1.1%	
大変不満であった	0 0.0%	
無回答	11 12.1%	
合計	91 100.0%	

問4 市民の皆さんが、北九州のプロスポーツチーム(例えばニューウェーブ北九州など)をもっと応援したくなるために重要と思う点をご記入ください。 ※本設問については第4章を参照。

大分類	中分類	回答数
広報戦略の充実	マスメディア露出度の向上	12
	効果的な試合告知	4
	その他(総合的な広報戦略等)	7
チーム強化		9
地元選手の育成、獲得		8
地域密着型の活動、きっかけづくり、演出	市民がチームに親しみを感じる活動実施	13
	子ども向けのイベント開催、学校との連携	6
	若者にアピールする活動	3
	サッカー初心者向けの様々な工夫	2
	試合会場でのイベント開催	3
スタジアムの整備、スタジアムまでの交通利便性向上		13
市民側の意識改革(地元愛を持つ、まず自ら行動を起こすなど)		9
チームのマネジメント(経営)の充実		6
その他		7

のべ意見数 102

※回答者数：86人

※一人の回答者が複数の要素の回答を行っている場合、それぞれ分離して整理しているため、のべ意見数は102

問5 今後、北九州市立大学 都市政策研究所がシンポジウムや調査研究で取り上げるべきとお考えになる、北九州地域の課題・話題等がありましたらご記入ください。

回答内容	回答数
スポーツ関連	10
都市計画、景観	6
防犯	4
文化	2
その他(社会福祉、環境、国際交流、経済など)	6

※無回答、あるいは設問と異なる記入の回答は除く。